

改善項目の名称	アンケート集計ソフトの開発		
学 校 名	池田高等学校・定時制	担 当 名	教頭 向井 和博
<p>【改善前の問題点及び状況】</p> <p>○本定時制は、生徒の学習上・生活上の課題を解決するために、年間を通して大学・企業・地域住民その他の関係機関と連携した取組を実施している。</p> <p>○しかしながら、経済的に苦しい家庭の生徒が多く在籍していることから、特色ある教育活動の実施に必要な予算の獲得に向けて、県の事業を積極的に活用することが、毎年の課題となっている。</p> <p>○本年度も、①道徳教育実践研究事業、②多様な学習を支援する高等学校の推進事業、③進化する教室イノベーション事業その他5つの事業を実施しており、計画段階におけるリサーチや、評価・改善段階において、生徒・保護者・職員のアンケートの実施並びに分析等の業務が不可欠となっている。また、学校評価、授業評価、その他の評価におけるアンケートの実施・分析も多く、各課・担当者の負担になっていた。</p> <p>【目標・改善内容】</p> <p>○様々な教育活動や事業を推進するにあたり、生徒や学校の実態把握、課題分析、取組の評価に活用するために汎用的に使えるアンケート集計ソフトを開発した。</p> <p>○学校評価、授業評価、生徒生活アンケートその他のアンケートで活用でき、同一の書式を使うことにより、職員も効率よくデータの入力や分析ができる。</p> <p>○学年別（4学年）に入力すると、最後のシートに一覧表が作成でき、職員会議資料も簡単に作成できる。</p> <p>【改善効果】</p> <p>(①削減可能な時間) 年間おおよそ <u>120時間</u> (積算) 5時間×3学期×職員8人</p> <p>(②削減可能な経費) 年間おおよそ 0千円(※)</p> <p><u>(※) 民間業者に委託した場合は、24千円/回(設問数30問程度のアンケート集計業務)</u></p> <p>(③その他の改善効果) <u>(教育の質の向上、児童生徒と向き合える時間の確保 等)</u></p> <p>○実施した各種アンケートを、共有フォルダに保存することにより、各課や各事業の担当者が、計画書や報告書作成の際に活用できる。これまでは、それぞれの課が、それぞれのアンケートを実施していたため、重複する部分もあり、いわゆる「二度手間」的業務が行われていた。</p> <p>○本年度より、共有フォルダの活用により、組織的にアンケートデータを照会・活用できるようになり、適正な評価に繋がると共に、アンケート実施・分析に要する時間が大幅に削減できた。</p> <p>【改善実施日】 平成29年4月から実施</p> <p>【実施にあたっての留意点・今後の課題】</p> <p>○本年度実施しているアンケート集計ソフトは、各学年1クラス(40人分)の入力しかできないが、クラス数に応じてカスタマイズすれば、大規模校でも同様のソフトが作成可能である。今後は、パソコンが苦手な職員が間違えて入力しないよう、入力画面以外の部分を保護することも必要であると考え。</p>			